

# 社会福祉施設 BCP

## (業務継続計画)運用研修 開催要綱

**趣旨** 介護・障害福祉サービス事業者等においては、事業継続に向けた計画等の策定が令和6年4月より義務化されており、全ての事業者で策定済みと思われます。しかし社会福祉施設におけるBCPでは、変化し続ける多様な要因を考慮し、いつでも運用可能なように見直していくことが、策定と同様に重要です。

本研修は、災害や感染症など危機事象の理解を深め、各法人等が策定したBCP（事業継続計画）が必要時に運用できる内容であるか点検する視点を学ぶ目的で開催します。

### 1. BCPの点検手法を学ぶことができます

既に策定したBCPについて、災害や感染症発生時の被害の想定、想定に対する実用性を再検討します。

いつでも運用可能な計画を維持できるよう、「見直しのポイント」を理解し、自法人・自施設の緊急事態に備えることができます。

### 2. 自然災害や感染症を想定した業務継続体制づくりを準備できます

突発的に発生する自然災害と進行する感染症では、危機の特性が異なります。また、入所施設や通所施設等、事業特性に応じて業務を継続するための体制も変わります。

危機事象や被害を想定した計画づくりに活かすことができます。

#### 開催形式

集合

#### 対象

福祉施設等の施設長、防火管理者、防災責任者等

#### 定員

50名

#### 日程・会場

令和6年9月12日（木）

札幌市／損保ジャパン札幌ビル11階（札幌市中央区北1条西6丁目2）

#### 研修費用

会員・準会員 5,000円 非会員 12,000円

#### 申込期間

令和6年7月10日（水）～8月8日（木）

#### 受講可否

令和6年8月15日（木）までにご連絡します。

#### 後援

損害保険ジャパン株式会社

## プログラム

時間	研修科目	研修内容
9 : 15 ~ 9 : 45	受付	研修費用の受領
9 : 45 ~ 10 : 00	オリエンテーション	
10 : 00 ~ 15 : 00	講義・演習 「平常時のBCP推進体制づくりについて」 「訓練の企画と実施手法について」	<p>BCP（業務継続計画）の実効性を高めるためには、平常時から組織全体で取り組むことが大切です。どの部門が何をするのか、また、事務局は何をするのか等、PDCAサイクルをふまえた組織的な活動の理解を深めます。</p> <p>また、BCPの要は、訓練にあります。多様な訓練がありますが、特に机上訓練の体験を通じて、訓練の企画・実施手法について学びます。</p>
15:00~16:00	講演 「災害時における自動車の活用方法について」	<p>地震や台風などの災害時には、停電が発生する恐れがあり、電動車（電気自動車、燃料電池自動車、プラグインハイブリッド自動車、ハイブリッド自動車）を移動式電源として活用することにより、給電が可能になります。</p> <p>災害時における自動車の活用方法について学びます。</p>